

かつてないほどのパワー系で挑むコンクール

21期 松井 郷

私が部長であった21期は、21期と22期の人数がともに20人程度と多く、かつ5学年で総勢80人近い部員数と大所帯の吹奏楽部だった。部員は個も強く、部長としてまとめることは苦労したが、にぎやかで楽しかった記憶がある。その中で一番記憶に残っているエピソードはやっぱりコンクールについてだ。

当時のコンクール出場者は50名以内というルールに対し、高校生40人以上でかつ全員男子という、他校垂涎（？）のパワー系の人数構成で挑むことができた。また、先輩たちのおかげで3年連続大阪府大会出場というタイミングでもあったため、出場者の多くはコンクールや府大会経験者であり、緊張でガチガチだった人は少なかったのではないだろうか。しかし、北摂大会での演奏は決して満足できるものではなかった。マーチのリズムがこけてどんどんテンポが早くなっていたこと、自由曲でトランペットの調子がとても悪かったことなど、反省点は15年以上たった今でもたくさん思い返すことができる。ちなみにだが、トランペットの件は「バヤリースを本番前に飲むとハイトーンが当たる」という代々伝わる言い伝えを守ったことによるミスだったらしい（口の中がべたついて音が鳴らなくとのこと。現役生はぜひ注意してほしい）。演奏後、武部先生と少し反省会のような会話を行ったこともはっきりと覚えている。それくらい演奏直後は納得できない演奏をしてしまったという反省と後悔ばかりであった。

ただありがたくも、武部先生がつくる男子しかいないとは思えないような音楽性の良さもあり（先生は本当にうまく私たちを飼いならしてくれていたと思う）、無事大阪府大会に進むことができた。北摂大会結果発表での会場内の低い大きな歓声（舞台で聞くと本当に圧がすごい）や、結果発表後にメイシアターのロビーの階段を駆け上がり、部員みんなで抱き合って喜んだ景色はいまでも鮮明に覚えている。ちなみに府大会ではバヤリースを封印しトランペットが素晴らしい演奏をしてくれたこともあるってか、4年連続で銀賞を受賞した。銀賞ではあったものの、府大会での演奏は今聞いても（ひいき目ではあるが）素晴らしい演奏であったと思う。

コンクールとは関係ないが、同窓会役員会の皆さまがまとめてくださったアーカイブを見返して、武部先生に関する小話を思い出した。21期のカジュコンの3部では仮面舞踏会を演奏したのだが、なんとカジュコン直前に浅田真央が競技で使用するというとてもホットなタイミングでの演奏となつた。私が中学2年生だった時は荒川静香がオリンピックで使用したトゥーランドットを演奏したこと也有ってか、選曲に関して武部先生がドヤ顔していたことは今思い返しても面白い記憶だ。

文化祭のゲリラライブで初めてジャズ風のルパンを取り入れたこと、カジュコンの劇で肉まんの餡に段ボールを詰めるという当時のニュースを取り入れたことや武部先生に自由の女神役で出演してもらったことなど、他にも思い出深い話はたくさんあるが、このあた

りで締めくくりたいと思う。後輩の皆さんも、大人になって「当時は充実していたなー。楽しかったなー。」と振り返ることができる部活動を送れることを願っています。